

ネットオークション

リスクもあり慎重に

(2014年11月4日掲載原稿)

商品を個人間で売買するネットオークションの利用がますます広がっています。オークションサイトに登録することで手軽に商品を出品したり、入札したりできます。しかし、支払いや商品の不具合をめぐるトラブルも多く、注意が必要です。

最近、「ブランドのバッグを落札し、商品が届いたが、偽物だった」「コンサートチケットを落札したが、コンサート当日、本人確認があって、会場に入れなかった」という相談がありました。

事例のような場合、トラブルになってからの解決は極めて困難です。未然に防ぐために以下の点に注意しましょう。

1 不自然さは？

サイトに書かれている相手の評価数だけでなく、内容も参考にしましょう。良い評価が多くても、出品者が複数のIDを使って操作している場合があるので、不自然がないか確認しましょう。

2 口座を確認

オークションサイトでは、過去にトラブルのあった口座を公開している場合があります。そのような口座へ振り込んだ場合、オークション補償の対象にはなりません。

3 画像をよく見て

商品説明に画像がない、他のサイトから画像を転載している場合は注意が必要です。商品が出品者の手元にあるか入札前に確認しましょう。また、商品の内容や特性に疑問があれば質問しましょう。

4 支払い先は？

落札したら、代金を支払う前に、支払先についてよく確認しましょう。出品者と支払い先の口座名義人が違う場合、注意が必要です。

5 控えを保存

相手とのメールのやりとりや支払いの控えなどは、取引が終了するまで保存しておきましょう。

サイトを運営する事業者は利用者間でトラブルが生じた場合、取引に実質的に関与していなければ原則、責任を負いません。利用者には「自己責任」の下での利用が求められます。顔の見えない個人間取引はリスクが高いことを理解し、慎重に利用しましょう。